



懸け橋

練馬区立石神井西中学校
学校だより 第10号
平成27年2月24日
校長 松丸 晴美

「有終の美を飾ろう」

2月も残りわずかとなりました。まだまだ寒い日も多く厚手の上着が手放せませんが、音楽室から流れてくる歌声の中にも、春の訪れを感じられるこの頃です。

さて、保護者の皆様には、学校評価アンケートへのご協力をいただき、ありがとうございます。今、学校では、今年度一年間の教育活動を振り返り、成果と課題を明確にして、来年度に向けての方針や計画を検討しているところです。保護者・生徒・教職員・地域関係者の方へのアンケート結果を分析し、今後の学校運営・教育活動の改善に生かして参ります。結果は3月の学校だよりに掲載いたします。今後ともご理解、ご協力をよろしくお願いいたします。

教職員の年度末のまとめと並行して、生徒達も今年度の学級目標や生徒会活動の振り返りをしています。先日の生徒会朝礼では、一年生と二年生の学級委員会からの報告があり、しっか

りした口調と優れた報告内容に大変感心しました。同時に「有終の美を飾る」という言葉が頭に浮かんできました。「有終の美」とは、中国で最も古い詩集の中にある「初め有らざるなし、よく 終わりある少なし」という言葉が語源となっているそうです。かいつまんで言うと「初めは、誰もが計画を立てて一生懸命に頑張るが、それを最後までやり遂げる人は少ない」という意味です。

平成26年度は、あとわずかの日数ですが、自分で立てた目標や計画の実現に向けて、最後まで全力で取り組み、努力を続けてほしいと思います。たとえ、100%達成できなくても、最後まで諦めずにやろうとする気持ちや努力が、次に何かに取り組みむ時の力になり、次の目標達成に向かう原動力になると私は思います。

また、3年生には「早く卒業して行ってほしい3年生」ではなく、「もう少し学校にいてほしい」と惜しまれる先輩として卒業の日を迎えてほしいものです。それぞれの生徒が「有終の美」を飾り、進学や進級することを心より願っています。

【生徒会朝礼 代表生徒のこぼれ】

2月16日(月)の生徒会朝礼で、1学年委員長、2学年委員長が1年を振り返って話をした内容を掲載します。3年生は別の機会に話をする予定です。

「みなさん、おはようございます。1学年学級委員長の串田です。私たち学級委員会は、これまでに、バッヂや生徒手帳の点検、あいさつ運動、暴言・暴力の根絶に向けた取り組みを行ってきました。バッヂや生徒手帳の点検は、クラスごとに行い、忘れた回数が多い場合は、給食のおかわりができないといったルールを定め、反省文を書くことによって、忘れる人が減るような工夫を行ってきました。あいさつ運動は、11月から1月にかけて、毎月1回行い、学級委員が中心となって参加者を募りました。その呼びかけに、とても多くの人たちが協力してくれました。以前、校長先生が朝礼でお話しされましたが、あいさつは、人を大切にする事だと思います。あいさつ運動は、人を大切にする学年となるための取り組みです。そして、暴言・暴力の根絶に向けた取り組みでは、私たち学級委員が進行役となり、話し合い活動を行いました。現在は、友達を大切にできるよう、そして、暴言・暴力をなくすために、一人でも多くの人たちが笑顔になれるようなポスターを作成し、廊下等に掲示しました。私たち学級委員会は、1学年がよりよい学年になるように、また、一人でも多くの方が、気持ち良く学校に登校できるように、これからも活動して行きますので、ご協力をお願いします。」

1学年委員長 1年D組 串田千尋

これから2学年後期学級委員会での主な取り組みと反省について報告します。

<良くできた点としては>

○他クラス侵入防止の呼びかけにより、他クラスに侵入する生徒は少なくなりました。今後もしっかりと呼びかけていきたいと思えます。○また、クラス反省や学年朝礼での司会などの運営をすることができました。

<良くできなかった点は>

○バッチの点検が徹底できなかったことです。今後は、週1回朝礼の後には必ず、バッチ点検を行い、バッチをつける習慣がつくように声かけを続けていきます。○さらに、反省点としてはスキー実行委員としての活動です。頑張った部分はありませんでしたが、不要物の問題があり今後の学年の課題となりました。学級委員会においても、今後どのようにしたら良いか各自が考えを出し合いました。

<学級委員会から出た主な意見は>

- ・自分たちが最高学年になるということを最確認する。
- ・一人一人の意識を高めるように、声かけをもっと強化し、行う。
- ・持ってきた人に対し、自己中心的な態度で、人に迷惑をかけていることをしっかり伝える。
- ・自分たちがもっとしっかりする。
- ・日頃から、不要物をもっていかないような雰囲気各クラスでつくる。などの意見が出ました。

<さらに、自由と自治についても考え、学級委員会から出た意見としては>

- ・自治（自分たちの問題を自分たちで解決する）という意味をみなで良く考える。
- ・悪いことやルール違反なことをやっている人を見たら黙っていないで生徒同士できちんと注意をする。
- ・事前に問題を防止できるようにする。
- ・不要物を持ってきても良いという雰囲気を作らない。
- ・本当の友達として、厳しく注意する。
- ・常に先生方との情報交換（報告、連絡、相談 ほうれんそう）を行う。などの意見が出ました。

最後に、学級委員は学年のリーダーとしてお手本にならなければいけないので、各自が意識を強くもつことが大切です。今後は、委員の一人一人も自分の反省点を見つめ直し、責任感をもち、学年の空気感を少しでも改善できるように努力したいと思います。

2学年委員長 2年D組 大山奈央

【2学年スキー移動教室】

2学年スキー移動教室担当 主任教諭 須澤 浩一

平成27年2月3日（火）～2月6日（金）に長野県上田市にある、ベルデ武石に宿泊して、都会では味わえない冬の環境で、自然の厳しさや白銀の素晴らしさを体感し、スキー実習を通じて体を鍛え、健康増進を図り、また、規律ある集団宿泊生活の中で、健康と安全対策を図り、通常の学校生活では得がたい教育効果を生み出し、心身ともに調和のとれた健全な育成を図ることを目標に、スキー移動教室を実施しました。

スキーの経験を基準に、20班編制で実習を行いました。初めてスキーをした班は、慣れないブーツやスキー板に苦戦していた生徒も、インストラクターの指導のもと、見る見る上達していき、二日目にはどの班もリフトに乗って、ゲレンデを滑ることができました。経験者の班は、両足をそろえての大回りターンや小回りターン、数人でグループを作り、ターン弧を合わせて滑るフォーメーションの練習にも挑戦していました。最終日には、全ての班がリフト最上部まで上がり番所ヶ原スキー場のコースを上から下まで、滑り降りることができました。生徒からは『楽しい』『もっと滑りたい』『もう終わりなの？』『もっと滑りたい』との声が聞こえました。宿舎では、集団での宿泊生活をしながら、寒冷地を想定しての避難訓練、友好を深めるためのレクリエーションを実施しました。多くの生徒は規律を守り、目標を達成することができました。避難訓練後には上履きをきちんとそろえられ、荷物もしっかりと整理整頓されていました。係活動も責任を持って取り組み、自治の姿が見られました。一つ残念なことに、決まりが守れずに不要物の持ち込みあり、二日目の夕方、なぜ持ち込みが続くのか？無くすにはどうしたら良いか？自分たちでできることは何か？グル

一歩討議を行い、出た意見を全体に発表して考えを共有しました。これまでの、生活を振り返るきっかけになったと思います。



【1 学年校外学習】

1 学年主任 主幹教諭 長谷川 学

1月30日(金)、雪の降る中、上野および日暮里を中心に校外学習が行われました。足下が心配されましたが、事故、けが、交通機関のトラブル等もなく、無事、校外学習を終えることができました。しかしながら、一部の生徒の不要物の持参があり、この点については、学年の課題として取り上げて指導しているところです。

今回の校外学習のねらいとしては、

- ① 生徒が、自分たちで班行動のコースを作成し、自分たちの力で行動することを通して、修学旅行へつなげる学習とする。
- ② 社会生活のルールやマナーを守りながら、班行動を成功させる。
- ③ 校外学習で学んだ「日本の文化」について、新聞作りを通して、外国の人々にうまく伝える力を育むとしました。

特に、3つめのねらいの「日本の文化を伝える力」は、次のような考え方を踏まえ、位置付けたものです。これからの社会は、国や地域を単位にするのではなく、世界を一つの単位として考えたり活動したりする社会です。このような動きをグローバル化とも呼んでいます。グローバル社会において、生徒たちには、大きく二つの資質が求められています。一つは、異質なものとを受容する姿勢です。もう一つは人類が共有する地球規模の課題の解決に向けて努力することです。具体的な行動が難しくても、少なくともどんな課題を抱えているかを知り、その重要性を意識することです。

これらの課題解決のために必要不可欠な条件は、「世界平和」と「国際協調」です。「平和と強調の精神」は、グローバル化社会に生きる人間に求められる資質です。そして、この「平和と強調の精神」こそ、日本が誇りにできる伝統でもあります。

さて、2020年には、東京オリンピック・パラリンピックの開催に伴い、現在の中学生が、選手として活躍するだけでなく、外国人を案内するボランティアなど、様々な国際協調の精神を発揮する機会を得ることとなります。今回の学習をステップとして、2020年を含め、その後の生活や社会に役立つものとなるよう学びを深めさせていきたいと考えております。なお、今回の学習のまとめとなる新聞は、2月14日(土)より、教室前の廊下に掲示いたします。



【諸活動の記録】

○ 練馬区教育委員会児童生徒表彰

(団体) 女子バスケットボール部 (地域) 3年B組 米原大地 (硬式野球)

○ 東京駅伝

練馬区総合優勝 男子 準優勝 女子 優勝 本校代表選手 2年C組 吉田百花 F組木澤七海

○ “明日のTOKYO” 作文コンクール

佳作 3年E組 小川彩香 1年C組 新井彩夏



○ 練馬区展覧会出品

書き初め

1年A組 大倉弓佳 松島里紗 1年D組 小林俊太郎

2年B組 蛭名祐一 2年C組 渡邊琴帆 2年D組 上田歩実 松下菜々 2年E組 佐藤茉唯佳

3年A組 田中美優 永塚千裕 3年D組 後藤有紗 3年E組 塚田陽太郎

○ バドミントン部

区一年生研修大会 女子

シングルス ベスト16 1年C組 松井美優

ダブルス ベスト16 1年A組 大倉弓佳 1年B組 大久保志帆

顧問より 2年生のよいところ吸収し、春の大会に1つでも勝てるように日々の練習を大切に!

区1年生研修大会 男子

シングルス ベスト16 1年C組 近藤恵生

ダブルス ベスト8 1年A組 魚澄隼人 1年F組 大澤友摩

顧問より 春の大会に向けて基本練習を積み重ねましょう。

○ 吹奏楽部

第11回 日本管弦打楽器ソロコンテスト 中学生 打楽器部門 銅賞 2年C組 石川真子

○ 卓球部

東京都中学校(区部)新人大会 女子団体 ベスト8

東京都中学校(区部)新人大会 男子団体 ベスト8

男子シングルス ベスト64 2年D組 佐東智也 2年E組 草間健吾

女子シングルス ベスト64 2年D組 大山奈央

顧問より 男女ともにベスト8に入ることができずばらしいです。男子はベスト4入りをかけた強豪校との試合に2対3と惜敗でした。次回の大会でリベンジできるよう頑張ってください。

東京都中学校新人大会

練馬区学年別大会

女子シングルスA 優勝 2年D組 大山奈央 3位 2年D組 茂木美澪

男子シングルスB 優勝 1年B組 來生京介

○ 東京都展覧会出品

書き初め 3年A組 大塚康平

美術(透視図CGデザイン) 3年C組吉原秀人 3年E組 糸林秀真 小川彩香 3年F組 志賀唯士

技術(リンク機構の設計) 2年E組 草間健吾 藤原純菜

家庭(ジャンパーベスト) 2年A組 中山真末 (赤ちゃん甚平) 3年F組 徳永舞奈

